

市政記者クラブ様

令和4年4月8日(金)

名古屋市総務局総合調整部アジア競技大会推進室

担当 笥、杉浦

内線 2242 ダイヤルイン 052-972-2242

愛知県スポーツ局アジア競技大会推進課企画・啓発グループ

担当 田上、高橋

内線 2827、5476 ダイヤルイン 052-954-6729

(名古屋市は21時45分まで職員が待機します。)

第5回アジアパラ競技大会の開催都市が愛知・名古屋に決定されました

愛知県、名古屋市及び日本パラリンピック委員会が、令和4年3月28日(月)に開催表明をしました、2026年の第5回アジアパラ競技大会について、本日4月8日(金)に開催されたアジアパラリンピック委員会(APC)臨時理事会において、愛知・名古屋が開催都市として決定されましたので、お知らせします(開催表明は3月28日記者発表済)。

<今後のスケジュール>

令和4年10月頃：APCとの間でアジアパラ競技大会開催都市契約締結

【参考】第5回アジアパラ競技大会の概要

(1) 開催意義

アジア競技大会と共通する開催意義に加え、愛知・名古屋が、日本、さらにはアジアの障害者スポーツをリードすることにより、障害への理解促進や、障害のある方の社会参加の促進に大きな役割を果たし、ひいては、多様性を尊重し合う共生社会の実現に貢献する。

(2) コンセプト

アジア競技大会と共通のコンセプトとし、アジアパラ競技大会の特性を加える。

(3) 実施競技

18競技(想定)

(4) 参加国

APCに加盟する44の国と地域

(5) 選手団人数

4,000人程度(想定)

(6) 開催経費

アジア競技大会の競技会場や選手村の施設を共用することにより、アジアパラ競技大会に必要な追加経費として、150億円を想定

<アジアパラ競技大会について>

アジア地域におけるパラリンピック・ムーブメントの推進と競技スポーツのさらなる進展を図るために、4年に一度開催するアジア地域の障害者総合スポーツ大会。国際パラリンピック委員会(IPC)の地域委員会であるAPCが主催する。